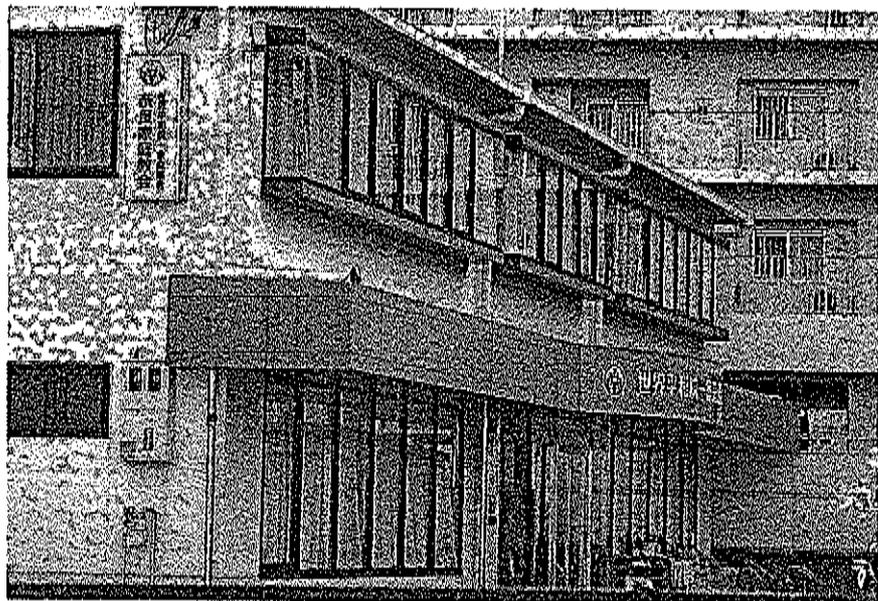


安倍元首相銃撃事件 旧統一協会が会見

「容疑者母は会員」

自民党の安倍晋三元首相が銃撃されて死亡した事件で、逮捕された山上徹也容疑者(41)が「母が入会した」宗教団体に恨みを持っていた」と警察に供述したとされます。この問題で旧統一協会(世界平和統一家庭連合)が1日、東京都内で記者会見を開き、山上容疑者の母親が「2008年ごろから同協会員である」とを明らかにしました。



安倍元首相の襲撃現場近くにある旧統一協会の施設(青森市)

家庭破たんの事実を把握

同会の田中康広会長が会見し、「(山上容疑者の)母親が98年ごろに関わりはじめており、当時、10歳代後半だった容疑者も行事に母と参加した可能性は否定できない」などとのべました。

同協会は、山上容疑者の家庭が破たんしていたことを把握していたと発言。警察への供述で「母が(多額の寄付をしていた)とのべたとされる点について、田中会長らは「それが動機なら教団においても重く受け止めないといけない」と語りました。母親からの献金額については「把握していない」としました。

母親最近も参加

また、同協会と山上容疑者の母親は2009年から17年ごろまで連絡が取れない状況でしたが、最近は一カ月ほど、同協会の行事に参加するようになったといわれています。

旧統一協会と安倍氏との関係については「UPF(天宙平和連合)主催の行事に安倍元首相からメッセージをもらった」とはある。UPFの総

裁が(旧統一協会の関係、故文鮮明の妻の)韓鶴子総裁なので、(山上容疑者は)混同しているのではないかと説明。UPFに関して「このへ、同協会と安倍氏の関わりを否定しました。

巨額の被害今も

会見は、旧統一協会が招待した全国紙やテレビ局など大手メディアに限定。参加を希望する雑誌やフリー記者を排除しました。

統一協会の問題に詳しいジャーナリストの鈴木エイトさんは「欺瞞(きまん)に満ちた会員で、脱会者が聞いたら怒るだろう」と批判しました。安倍氏と旧統一協会の関係を否定した発言について「UPFも統一グループで韓鶴子をアンプに同じ目的のために活動している団体だ」と指摘。

同協会は会員で「09年に声明を発表し、コンプライアンス(法令順守)の徹底を進めてきた」とも説明。

これに対して鈴木氏は「今でも巨額の被害が起きている。彼らのいう「コンプライアンス」とは、被害者に念書を書かせるなどして、教団が裁判に訴えられないための対策にすぎない」と反論しました。